

# とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2009.07.July 臨時号

## 経済対策補正予算 六月議会で審議

過去最大の6月補正

6月22日から7月9日まで  
の会期で開会された6月定例  
会では国の経済対策に係わる  
補正予算が主な議題でした。  
補正予算額は454億円で  
6月補正では過去最大です。

しかし、内訳を見ると、今年  
度事業費として予算化されて  
いるのは230億円で、残りは  
基金に積むことになっていま  
す。これでは、本常に経済対策  
になるのか、金額だけが大きく  
中身の薄い経済対策になって  
しまっています。

平成21年度6月補正予算 (単位：億円)

施策区分	補正額	21年度事業	基金積立(今後活用分)
社会基盤・生活基盤整備	129	129	
農林水産業対策	43	13	30 (24)
商工業対策・観光振興	13	13	
雇用対策	44	8	36 (30)
医療・福祉の充実	164	45	119 (89)
教育・社会貢献活動の推進	7	7	
安全・安心確保対策	6	6	
環境対策	12	2	10 (9)
地域活性化対策	7	7	
地域活性化・経済対策調整基金積立	29		29 (29)
計	454	230	224 (181)

財源  
国庫補助金 403億円 基金の取り崩し 43億円 県債 1億円  
その他の歳入 7億円



一問一答方式で質問に立つ

これも国でほとんどが決め  
られていることに起因します  
し、国からの事業内容について  
の詳しい情報が伝わってこな  
い中で、予算編成だったと聞  
いています。  
そして、何よりもこれらの財  
源のほとんどは国からの交付  
金・補助金で賄われています  
が、その財源は10兆8千億円  
にもなる国債であり、つまりは  
国の借金であって、あと後、私  
たち国民の負担となって重く  
のしかかっています。  
私たちは、この予算が真の経  
済対策となるよう今後も監視  
していかなければなりません。

### ワークライフバランスで 生活の質を高める取り組みを

6月議会質問では、①ワーク  
ライフバランス②消費者行政  
③グリーンニューディールの  
3つの項目について聞きまし  
た。そのうちの①ワークライフ  
バランスについて報告します。

「ワークライフバランス(仕  
事と生活の調和)」は企業側か  
ら見れば労働生産性をあげる  
ことであり、そのことは労働者  
の生活の質の向上にもつなが  
るといふ使用者・労働者にとつ  
てWIN-WIN(双方に利を  
得る)の関係をつくることでは  
ないでしょうか。

この経済不況に左右されず、  
仕事が減っている今だからこ  
そ、仕事の再設計によって生産  
性を高め、仕事の質の向上と職  
場環境の改善を進め、ゆとりあ  
る仕事と生活を楽しめる環境  
を作ることが、労働生産性を高  
めていくことにつながってい  
くという点から、県の積極的な  
取り組みが必要だと考えます。

島根県が「仕事と家庭の調和」と「男女共同参画」を推進するために子育て中の従業員を積極的に支援する企業を「しまね子育て応援企業（通称「こっころカンパニー」）に認定している事業を進めるために、昨年の

議会質問で入札参加資格要件に入れることを提案し実施されたのですが、その結果、この取り組みに企業の関心が高まってきました。このことをとらえて次の質問をしました。

【質問】建設工事入札において「こっころカンパニー」の認定事業者が増えてきた。このような取扱いを建設工事以外の公契約にも拡大すれば、さらに事業者の取り組みが広がると思うが、どのように考えるか。

【回答】建設工事における取扱いは、事業者の取組推進に大きな効果があったと考える。今後建設工事以外の分野にも同様な対応ができないか検討を進めたい。

また、このことを進めるため

に専門のアドバイザーを事業所に派遣することも求めました。これについても取り組む考えを示され、島根県としてもワークライフバランスに行政として積極的に取り組む姿勢を示されました。

### 漂着ゴミをなくそう

6月23日、国の漂流・漂着ごみ対策重点海岸クリーンアップ事業が松江市島根町で実施されており、現場を見てきました。

現場は沖泊海岸と言って近くには「多古の七つ穴」と呼ばれる浸食によってできた洞窟が海岸線に沿って並ぶ風光明媚なところです。ところが海岸にはプラスチックや木材などのゴミがいつぱい。まるでゴミの処分場のようなのです。

その一部を今回の作業として取り組んでおられます。5日間かけてこの周辺一帯のゴミを集め、種類別に分類し、さらには国内ゴミと海外ゴミの分類、量などを調査されます。

大量の漂着ゴミを集める皆さん



夏の日差しが強い天候の中、船で渡った海岸では何十人もの人たちが汗を流しておられました。朝から作業を始められ、私が行った午後にはゴミの分別がほぼ終わり、船で港まで搬出する作業が始まっています。船で渡らなければならぬ場所での大量のごみの処理は大変です。歩いていける場所での小さなものなら住民でもゴミ拾いはできますが、漁網や発泡スチロール、材木となるとゴミの大きさも量も甚大でも小さな集落の住民だけでは太刀打ちできません。

ゴミを投棄しないよう上流地域や海外の国々に呼びかけることや漂着したごみの処理など行政の力が必要です。今回、国のモデル事業として取り組まれています。この事業を通してごみを川や海に捨てないことが徹底され、海岸にごみが漂着しないようになることを期待します。

6議会では、この問題も取り上げ、今回の補正予算に盛り込まれたグリーンニューディール事業などを活用し、今後も県の積極的な取り組みを要望しました。

### 赤松選対委員長を迎えて 必勝を期す

6月4日夕方6時から松江駅前で民主党選挙対策委員長赤松宏隆衆議院議員を迎えて街頭演説会をしました。曇り空の肌寒い天気でしたが、たくさんの方に集まってもらいました。

赤松選対委員長は、先に成立した経済対策にかかわる補正

予算の無駄遣い、省庁の地デジ対応のテレビへの買い替えやハイブリット車の購入、アニメの殿堂など補正予算でするべきものではないとし、この国の政治を変えていかなければならないことを訴えられました。そして、近づく総選挙に向け、この島根から変えていこうと呼びかけられました。

一緒にあいさつに立った民主党島根一区総支部長で、総選挙に立候補を予定しているこむろ寿明さんも総選挙にかけ決意を熱く語られました。皆さんの力で政治の流れを変えましょう。



右から赤松選対委員長、こむろ予定候補、内田民主党島根代表